明るく健康な生徒　正しい判断力をもち主体的に学び行動する生徒　豊かな情操をもち品位ある生徒

石神井中だより

練馬区立石神井中学校
校長　櫻井　弘
令和５年１月２０日
第９号

今年もよろしくお願いします

校長　櫻井　弘

飛躍の卯年、令和５年（2023 年）となりました。昨年末からコロナ禍も第８波となり健康に留意する日々が続いておりますが、皆様におかれましてはご健勝でお過ごしのことと拝察いたします。

３学期始業式で「～らしさ」についてお話ししました。校則などで使われることのある「中学生らしさ」という言葉を例にあげ、本物の中学生に「中学生らしくしなさい」はしっくりこないという話から、大切にしたい「らしさ」には「自分らしさ」があり、「自分らしい」とはどういうことなのか考えてみましょうという話でした。

「らしさ」と似たような言葉に「アイデンティティ（identity)」という言葉があります。辞書的な意味としては「同一性」、「正体」、「身元」、「本人であること」などです。この意味でよく耳にするのは ID カード（identity card（身分証明書））やインターネットで使われる ID やパスワードの ID です。今回考えてもらいたい内容に沿って意味をわかりやすくすると、「自分らしさ」の認識、「個性」の認識、「自分が自分であること」の認識、「独自性」の認識となります。アイデンティティとは、このように自分らしさや個性を認識している状態を表します。例えば周囲から「明るく元気な人」と評価されていても、本人がそれを自覚（＝認識）していなければアイデンティティとは言えないということです。では、具体的にアイデンティティ（自分らしさや個性）はどう表せばいいのでしょうか。例えば、

・私は勉強も部活動も、そして遊びも一生懸命に頑張る石中生
・私の趣味は英会話で、国際交流が好きな石中生
・私は何かにチャレンジするのが好きで、活動的な石中生
・私は誰かの役に立って生きていきたいと考える石中生　　などとなります。

またこのように、アイデンティティ（自分らしさや個性）を認識できている状態を「アイデンティティが確立されている」、逆に「自分とは何者なのだろう…？」ということがわからなくて悩んでいる状態は「アイデンティティが確立されていない」と表すこともできます。

皆さんは、この石神井中学校で主体的に学び行動することで、日々いろいろな経験や学習を積み上げ、自分らしさや「これが私だ！」と言えるアイデンティティを創り上げていったり、現在の状態からバージョンアップさせたりしています。令和５年もいろいろなことがあると思います。皆さんには受け身ではなく、自分で考えいろいろなことに挑戦し、その結果を受け止めさらに挑戦を繰り返す年であってほしいと思います。そうすることで自分をブラッシュアップしていきましょう。

〇石神井中もバージョンアップします。

①現在の金工室を図書室に改装し、蔵書量、図書館機能を充実させます。（R５年３月末完成予定）
　このことに伴い、MSUR（ﾏｲｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟﾙｰﾑ）が現図書室に移動します。

②体育館（アリーナ）にエアコンを設置します。（R５年７月～８月工事予定）
　工事期間中は体育館（アリーナ）が使用できず、部活動は近隣施設の利用や他校への遠征などによる活動が多くなります。また、工事車両の通行など校庭部活動にも影響が出る予定です。

皆様には、本年もご理解・ご協力・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。